

パプリカ

蒔く時期：2月～5月

収穫時期：6月～11月

特徴

欧米では古くから親しまれるカリフォルニアワンダータイプといわれる大型のベルの形をしたエアルーム種で、夏の暑さや初秋の涼しさにも強く、初心者でも安心して作れます。パプリカが料理においしさとカラフルな彩りを添えます。

育て方

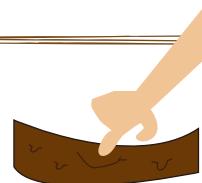
【用土】

- 植付けの10日前までには、酸度が強い場合は石灰で中和し、肥料をたっぷり入れ耕しておきましょう。



【植え付け】

生育温度（最適）20°C～30°C程度



- ポットまたは直まきで5粒ほど蒔き、土を5mmほど被せ、水をたっぷり与えます。
- 本葉が5～6枚のときに間引いて支柱を立てましょう。
- ポット蒔きの場合、株間を50cm程度とて、根を傷つけないように注意して植えつけましょう。
- 表面の土が乾いたらたっぷりと水やりをしましょう。

【置き場所】

- 日当たり、風通しの良い場所が最適です。風通しの良い場所は病気予防になります。



【芽かき / 追肥】

- 最初の花が咲いたら、その下のわき芽2本を残して、その他は摘み取り、3本立てで育てます。実が付きだすと枝先が重くなり、折れやすくなるので、支柱をつかい、枝を固定・誘引しましょう。定植後1ヶ月ほど経ったら、2～3週間ごとに追肥しましょう。

【収穫】

- 果実ははじめは緑色をしていますが、やがて赤く変化していきます。色が全体にまわったら収穫しましょう。
- パプリカの収穫期は長く、霜が降りる頃まで続きます。



【その他注意点】

- 一番最初の実は早摘みし株全体に養分がいきわたるようにしましょう。収穫が遅れると次につく実の成長に影響します。色づいたら早めに収穫しましょう。